

2024 年度 自動車リサイクルの高度化等に資する調査・研究・実証等に係る助成事業  
〔採択結果〕

2024 年 4 月  
公益財団法人 自動車リサイクル高度化財団

事業区分	事業名	代表事業者	共同事業者	事業期間	概要
ASR の低減等に資する再生材の基礎技術研究・開発事業	Car to Car リサイクルに向けた樹脂の高度選別技術開発	株式会社マテック	三菱電機株式会社 ジグ・エンジニアリング株式会社 ダイオーエンジニアリング株式会社	1 年	比重選別（ジグ）、静電選別、赤外線ソーター等の選別技術を組み合わせて、ミックスプラスチックから自動車向けの再生樹脂の回収を行う。多種類の樹脂を回収対象として、再生樹脂の効率的かつ環境負荷の少ないリサイクル法を確立する。
	普通乗用車廃タイヤにおけるマテリアルリサイクルシステムの構築	株式会社山形県自動車販売店リサイクルセンター	特定非営利活動法人山形県自動車公益センター	3 年	普通乗用車の廃タイヤは「合成ゴムであること」と「ポリエステル繊維除去が困難であること」から、大半がサーマルリサイクルとなっている。今後の温暖化防止対策を見据えてマテリアルリサイクル転換のための実証実験を行う。
ASR の低減等・自動車 3R の高度化に資するリサイクルシステムの事業性評価事業	資源回収インセンティブ実装検討事業	一般社団法人日本自動車リサイクル機構	株式会社エコアール 協和産業株式会社 いその株式会社 株式会社ヒラキン 株式会社矢野経済研究所	2 年	中小の解体事業者でも資源回収インセンティブに参加可能となるようにいくつかのコンソーシアム形式及びその工程別管理・実作業内容について机上検討及び小規模の実トライに基づき決定を行う。最終的にパターン別コンソーシアムの管理方法や実作業内容集の作成を目指す。
	自動車リサイクルにおけるアルミニウムの低炭素型 CE 実証	株式会社アビツ	株式会社 UACJ 株式会社矢野経済研究所	2 年	異物除去が可能な XRT 選別装置導入に加え、アルミを合金種ごとに選別できる LIBS 選別装置を導入し、展伸材 to 展伸材によるリサイクル部品が自動車部品として使用が可能か検証する。
	自動車ガラスを対象とする板ガラス向け再生原料基準の制定及び品質管理実証	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社	一般社団法人板硝子協会	2 年	自動車ガラスの回収および板ガラスへの再資源化に焦点を当て、板ガラス向け再生原料基準及び自動車ガラス回収ガイドラインの制定と、中間処理業等における品質管理を伴う処理プロセス（解体、回収、保管等）の実証を行う。

※上記は採択時の状況に基づく内容であり、内容に変更が生じることがあります。